

2022年7月23日読書会用

第309回山口西田読書会（2022年7月9日開催分） プロトコル

岡部昌平

## 1 テキスト

旧全集「場所」四 段落2

253頁12行目「知覚とは直接に限定せられたものを意識することである」より

254頁6行目「感覚的なるものの知識の根柢に於ける一般者」の直前まで

## 2 キーワード

【知覚】 限定せられた場所、有の場所、限定せられた性質の一般概念の中、相反の世界

【力の世界】 無の場所、矛盾の世界

【転回点】 限定せられた一般概念を破ること、相反の世界から矛盾の世界に出ること

## 3 キーセンテンス

「力の世界を見るには、かかる限定せられた一般概念を破って、その外に出なければならぬ、相反の世界から矛盾の世界に出なければならぬ」（254頁1-2行目）

## 4 考えたこと

有の場所から無の場所にする転回点について、「相異なるもの、相反するもの」で世界を構築している私がそれらを失えば、何も見ることができないのではないか。有から無に転じた私は世界を何で認識するのか。有の場所の外にでたばかりの私と矛盾の世界を見る私の間には、いまだ距離があるのではないか。